

令和8年

夏の交通安全市民運動 実施要綱

令和8年7月11日(土)～7月20日(月)

新生活も3か月が経過し、通学・通勤への慣れから気の緩みや油断が生じやすくなり、暑さやレジャーにより疲れが蓄積しやすくなるこの時期は、歩行者、運転者ともに注意力が散漫になりがちです。また、レジャーなどで自動車を運転する機会が増えるため、交通事故の発生が心配されます。

さらに、夏特有の解放感から飲酒の機会も増え、飲酒運転による交通事故の発生も懸念されます。

そこで、夏の交通安全市民運動を下記の運動重点により展開し、交通事故の防止を図ります。

《 運動重点 》

- 歩行者の安全な交通行動の実践及び安全確保
- 自転車等の交通ルールの遵守及びヘルメット着用の徹底
- 運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶

**歩行者優先は
車が守るべき 責任です！**

運転者には横断歩道手前での
減速義務や停止義務があります。



主唱 安城市交通安全推進協議会

～ 期間中の主なキャンペーン ～

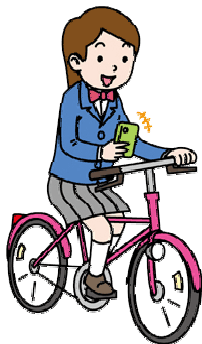
◆ 7月13日（月）午後4時から

交通事故なく素^{そうめん}麺キャンペーン（桜町交差点にて）
安城特産品のそうめんを配布しながら、交通安全を呼びかけます。

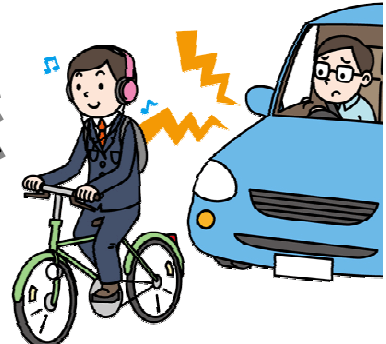
ハンドアップ運動



- 歩行者は、左右の安全確認をし、手を挙げるなどドライバーに横断する意思を明確に伝えてから横断する。特に子どもは、横断中もドライバーから目立つよう手を挙げて横断する。
- 歩行者は、車が止まっても左右の安全確認をしてから渡り、横断途中も他の車が来ていないか注意する。
- 歩行者は、停止したドライバーに会釈するなど感謝を伝える。



危険です
ながらスマホで
踏むペダル



実践しよう 交通安全スリーS運動

- Stop（ストップ）
 - ・赤信号は確実にストップ、一時停止場所では自転車もストップ
 - ・横断歩道や交差点では歩行者優先
 - ・飲酒運転の根絶
- Slow（スロー）
 - ・子どもや高齢者を見かけたらスローな運転
 - ・見通しが悪い交差点では徐行
- Smart（スマート）
 - ・全ての人に対して思いやりをもった運転と、運転中はスマートフォン等を絶対使用しないスマートな運転
 - ・シートベルトの全席着用の徹底
 - ・急発進や急制動をしない、落ち着いたアクセルの踏み込みなど環境に配慮したスマートな運転